

2011年度研究助成テーマと助成額

1. 心理学・医学的研究

敬称略・五十音順 (万円)

地区	申請者	研究テーマ	助成金	
東京	目白大学 人間学部子ども学科 教授	アオキ ユタカ 青木 豊	アタッチメント行動チェックリスト簡易版の作成とその信頼性・妥当性の検討	50
京都	京都大学大学院 医学研究科 研究生	イナガキ カヨ 市川 佳世子	高機能自閉症児に対するソーシャルスキルプログラムの効果に関するランダム化比較 試験:パイロットスタディ	50
東京	日本大学文理学部 人文科学研究科 研究員	カツヤ ノリ 勝谷 紀子	軽中度難聴者におけるストレスと精神的健康との関係 ストレス対処のための効果的な介入プログラムの開発に向けて	50
東京	昭和大学医学部 精神医学教室 助教	カナイ チエコ 金井 智恵子	WAIS-IIIに基づく高機能広汎性発達障害における認知プロファイルの比較	50
宮城	宮城教育大学 教育学部 講師	クロカワ ナオユキ 黒川 修行	自然災害時におけるリスク回避行動と意志決定に関する研究 東日本大震災における学校での避難対処行動の認知と心理的背景	50
千葉	放送大学大学院 准教授	コハヤシ マリコ 小林 真理子	子育て中のがん患者と子どもへの支援に関する研究 子どもサポートグループの効果に関する検討	50
東京	白百合女子大学 文学研究科 研究生	ツチャ アヤ 土谷 亜矢	児童養護施設に入所する児童・生徒への学習支援方法の開発 心理アセスメントに基づく学習支援	50
宮城	東北大学大学院/東北大学臨床心理相談室 教授/室長	ハセガワ ケイゾウ 長谷川 啓三	東日本大震災における長期的支援プランの構築とその効果に関する研究	36
長野	信州大学医学部附属病院 子どものこころ診療部 准教授/副部長	ハラダ ユズル 原田 謙	自閉症スペクトラム障害における自己理解と対処スキルに関する研究	50
東京	白梅学園大学 子ども学部発達臨床学科 教授	フクマル ユカ 福丸 由佳	離婚を経験する子どもと家族への心理的支援 FAIT(Family In Transition)プログラムの導入と実践	50
静岡	浜松医科大学 子どもこころの発達研究センター 特任助教	マツモト カオリ 松本 かおり	早期療育へ繋げる親子支援のあり方 大学附属研究機関を中心とした地域連携モデルの提言	50
石川	金沢大学 子どもこころの発達研究センター 特任助教	ミウラ ユイ 三浦 優生	自閉症スペクトラム障害児における言語運用の困難さの解明 プロンディーに焦点をあてて	50
静岡	浜松医科大学医学部 児童青年期精神医学講座 特任助教	ヤマムラ ジュンイチ 山村 淳一	子ども虐待に伴うPTSD薬物療法における漢方薬の有効性に関する研究 四物湯と桂枝加芍薬湯に関する二重盲検プラセボ対照クロスオーバー試験	50
東京	ファミリーメンタルクリニックまつたに 臨床心理士	ヨシザワ シンイチ 吉沢 伸一	個人心理療法における「行き詰まり」状況の把握と、その扱いおよび進展に関する諸要 因の検討 — 児童期の被虐待・思春期のひきこもり・青年期以降のパーソナリティ障 害に対する精神分析的な治療に焦点化して	50
宮城	宮城県子ども総合センター 児童精神科常勤医師	ヨシダ ヒロカズ 吉田 弘和	東日本大震災が子どものメンタルヘルスに与える影響について 宮城県における取り組みを通じた検討	50
小計 15件 736万円				

2. 社会学・社会福祉学的研究

地区	申請者	研究テーマ	助成金	
千葉※	児童自立支援施設 千葉県生実学校 児童自立支援専門員	イシザワ マサヒデ 石澤 方英	児童福祉施設における性教育プログラム確立と性的問題に対する職員の対応マニュアル 作成に向けた実態調査 加害者にも被害者にもならないための予防策としての性教育実践のために	50
東京	お茶の水女子大学大学院 人間文化創生科学研究科 大学院生	イナガキ カオル 稲垣 馨	コミュニティ協働型ファミリーリソースプログラムの構築と実践 祖父母世代と子育て世代を軸にした多世代交流家族支援システム	30
兵庫	甲南女子大学 人間科学部 准教授	オカモト ヒデアオ 岡本 英生	大震災が犯罪者の立ち直りに与えた影響に関する研究 リスクマネジメントとしての社会支援の観点から	50
東京	東京家政学院大学 現代生活学部・人文学部 教授	ニシグチ マモル 西口 守	高齢者福祉施設でのターミナルケアにおける『spiritual pain』の軽減支援の実際 意思疎通困難な高齢者への対応も視野に入れて	50
茨城	筑波大学大学院 人間総合科学研究科 准教授	ハシヅメ ユミ 橋爪 祐美	要介護高齢者を介護する勤労女性の精神的健康支援に関する研究 『私の介護ノート』を用いた女性の介護うつ予防プログラムの試行	50
小計 5件 230万円				
合計 20件 966万円				

※は団体申請

2012年度研究助成テーマと助成額

1. 心理学・医学的研究

敬称略・五十音順 (万円)

地区	申請者	研究テーマ	助成金	
茨城	筑波大学大学院 人間総合科学研究科 特任助教	イム ヨンジェ 任 龍在	障害児をもつ母親のQOLとソーシャルサポートに関する日韓比較研究	50
福島	福島大学 人間発達文化学類 教授	ウチヤマ トキオ 内山 登紀夫	自閉症スペクトラム障害児者の親教室 -プログラム開発のためのパイロットスタディー-	50
東京	玉川大学 経営学部国際経営学科 非常勤講師	オオモリ テツシ 大森 哲至	継続する自然災害における高齢者のライフイベントに関する研究 -2000年三宅島雄山噴火で被災した高齢者の復興曲線を用いた質的調査からの検討-	50
神奈川	クリニック・かとう、NPO法人 らんぷあんぷらざ 医師	カウ ジュンコ 加藤 醇子	ディスレクシア児少人数指導の試み -特別支援及び通級学級での活用をめざして-	50
東京	東京大学大学院 医学系研究科 大学院生	シマダ キョウコ 島田 恭子	共働き両親のワーク・ライフ・バランスおよびメンタルヘルスが、子どもの養育環境および発達に及ぼす影響の検討	50
福島	福島大学大学院 人間発達文化研究科 教授	ショウジマ ヒロシ 生島 浩	放射能不安によるリスク・ファミリーへの支援 -疎開家族へのアウトリーチを中心に-	50
茨城	筑波大学 医学医療系 教授	トクダ カツミ 徳田 克己	福島第一原発事故による放射能汚染が乳幼児の保育に与えた影響 -茨城県の保育所を中心として-	50
埼玉	早稲田大学 人間科学学術院 教授	ネガヤマ コウイチ 根ヶ山 光一	避難家族における望ましいエンパワメントのあり方の検討 -「つながる活動」の今とこれからを見据えて-	50
東京	明治学院大学 心理学部 教授	フジサキ マチヨ 藤崎 真知代	生涯発達における子ども時代の体験の意味 -40年にわたる生涯的縦断研究からの提言-	50
福岡	九州大学大学院 医学研究院 臨床神経生理学講座 助教	マエカワ トシヒコ 前川 敏彦	サブリミナル顔刺激を用いたアスペルガー症候群の情動刺激処理の解明 -心の理論と無意識脳活動の接点-	50
千葉	放送大学大学院 臨床心理学プログラム 大学院生	モリタ ミキ 森田 美紀	青年期自閉症スペクトラム障害者への自己理解支援の検討	21
福岡※	久留米大学 医学部 准教授	ヤマシタ ユウシロウ 山下 裕史朗	ADHDの包括的治療法開発・普及に関する研究 -日本における効果的サマートリートメントプログラムは何か？-	50
岩手	岩手県立大学 社会福祉学部 講師	ヤマダ サチエ 山田 幸恵	東日本大震災により被災した家族の研究 -震災の影響による家族関係の変化とそれによる問題-	50
静岡	浜松市子どものこころの診療所 臨床心理士	ワタナベ ユキ 渡邊 往	思春期の発達障害女子とその保護者への包括的支援の在り方について -思春期の発達障害女子の支援ニーズ調査と本人・保護者に対する介入プログラムの開発-	50
小計 14件 671万円				

2. 社会学・社会福祉学的研究

地区	申請者	研究テーマ	助成金	
神奈川	慶應義塾大学大学院 健康マネジメント研究科 山内慶太研究室 研究員	オカ マユミ 岡 檀	自殺希少地域における自殺予防因子の研究 -自殺希少地域、青森県旧平舘村のコミュニティ特性から-	50
岐阜	朝日大学 歯学部口腔病態医療学講座 教授	ケンケイカ 玄 景華	重度認知症のある方への食事援助のマニュアル作成	47
大阪※	平安女学院大学短期大学部 保育科 准教授	シズノ サトミ 清水 里美	効果的な子育て支援のあり方について -トリプルPプログラムの父親グループへの適用の試み-	46
兵庫	兵庫医療大学 教授	スズイ エミコ 鈴井 江三子	学童保育指導員を対象にした児童虐待の早期発見と対応に関する研究	50
京都	京都文教大学 臨床心理学部 教授	ヨシムラ ユリ 吉村 夕里	認知症高齢者の環境認知に配慮した施設ケアの在り方 -時空間の定義づけと統制をめぐる利用者/ケア提供者間の相互作用分析から-	50
東京	大正大学大学院 人間学研究科 大学院生	ワタナベ アカリ 渡辺 暁里	児童虐待の被害者女性の母性と子育て -子どもを産む選択に関する心理的プロセスとその支援のあり方-	50
小計 6件 293万円				
合計 20件 964万円				

※は団体申請

2013年度研究助成テーマと助成額

1. 心理学・医学的研究

敬称略・五十音順 (万円)

地区	申請者	研究テーマ	助成金	
東京	聖路加看護大学大学院 看護学研究科 大学院生	アサワ キョウコ 朝澤 恭子	不妊治療を受けるカップルのパートナーシップ支援プログラムの効果 -女性の抑うつとストレスを軽減するための看護介入による家族支援-	50
神奈川	社会福祉法人 横浜市リハビリテーション事業団 横浜市総合リハビリテーションセンター 医師	オゾノ ヒロコ 大園 啓子	高機能自閉症スペクトラム障害児の心の理論の発達に関する研究	50
和歌山	和歌山大学 教育学部 教授	オノ シロウ 小野 次朗	個別の支援や専門家・医療につなぎにくい児童の保護者の実態について -教員へのアンケート・面談調査に基づいて-	49
東京	東京大学大学院 医学系研究科 助教	カワホト ユキ 川久保 友紀	成人期に診断される発達障害の特徴と心理教育の有効性の検討 -検査入院プログラムを利用した発達障害の診断-	50
東京	東京大学大学院 医学系研究科 大学院生	キクチ リョウタ 菊池 良太	小児臓器移植患者の親の Quality of Life -移植患者の養育の支援と家族機能の観点から-	50
岐阜	岐阜大学 保健管理センター 助教	サトウ タケヒロ 佐渡 忠洋	今昔の中学生のバウムテスト表現の比較 -1960年代と2010年代との発達指標の比較を通して-	49
福岡	九州大学大学院 医学研究院・精神病態医学 講師	ナカオ トモヒロ 中尾 智博	Hoarding(溜め込み癖)と児童思春期に発症する精神疾患の関連についての 疫学的研究	50
東京	東京大学 先端科学技術研究センター 研究員	ノダ タカヒロ 野田 貴大	不自然な音の長期的暴露による音の聴こえやすさの変化と注意欠陥状態への 影響 -神経活動にもとづく望ましくない音環境要因の推定-	50
福岡	福岡大学 医学部精神医学教室 大学院生	ハラダ コウヘイ 原田 康平	福岡大学病院救命救急センターに搬送された自殺企図者の家族支援に関する 研究 -自殺企図者の家族の精神症状と心理教育の効果に関する研究-	50
東京	白梅学園大学 子ども学部発達臨床学科 教授	フクマル ユカ 福丸 由佳	離婚を経験する家族への心理教育プログラムFAITの実践 -移行期にある家族を支援する取り組みとその効果の検討-	50
東京	日本医科大学大学院 医学研究科 講師	マキノ トモヒコ 増野 智彦	病院前救急診療に伴う心的外傷ストレス軽減を目的とした事前教育の効果 -患者・家族・医療従事者の心と体の健康を守るために-	50
神奈川	東海大学 医学部専門診療学系精神科学 講師	ミカミ カツナカ 三上 克央	小児造血細胞移植患者の精神医学的特徴 -移植目的で入院となった患者を中心に-	50
東京※	昭和大学附属鳥山病院 心理員	ヨコイ ヒデキ 横井 英樹	成人期注意欠如多動性障害者に対する心理社会的支援プログラムの開発	50
東京	ファミリーメンタルクリニックまつたに 臨床心理士	ヨシザワ シンイチ 吉沢 伸一	青年期・成人期の困難事例における行き詰まりと治療機序 -精神分析的臨床におけるパーソナリティ障害の対応と一般臨床への応用-	50
小計 14件 698万円				

2. 社会学・社会福祉学的研究

地区	申請者	研究テーマ	助成金	
千葉	児童自立支援施設 千葉県生実学校 児童自立支援専門員	イシザワ マサヒデ 石澤 方英	児童自立支援施設における性的課題(セクシュアルマイノリティ)を抱えた児童 に対する支援方法確立に向けた実態および職員の意識調査 -児童ひとりひとりが尊重される支援を目指して-	50
兵庫	武庫川女子大学 文学部心理・社会福祉学科 教授	オオエシ ジロウ 大西 次郎	精神科ソーシャルワーク実践技術の理論化に関する研究 -学際的アプローチによる精神保健福祉の向上-	50
東京	国際医療福祉大学大学院 准教授	オノデラ アツシ 小野寺 敦志	訪問介護サービスのサービス提供責任者への研修方法の開発 -ケースメソッド法によるアセスメントスキルの向上-	50
兵庫	兵庫医療大学 看護学部 准教授	サイノウ マサコ 齋藤 雅子	Japanese Nursing Child Assessment Satellite Training (JNCASAT) で評価した産 後1ヵ月の母子相互作用	50
東京	慶應義塾大学 医学部精神・神経科学教室 特任准教授	ナカアキ シュウタロウ 仲秋 秀太郎	精神症状を併発する認知症の介護者のうつと不眠に対する統合的な介入 -行動的介入療法と認知行動療法の統合的介入プログラムの開発-	50
広島	県立広島大学 保健福祉学部人間福祉学科 講師	マツヤ ユキタカ 松宮 透高	ACT(Assertive Community Treatment)における子ども虐待防止機能の研究 -メンタルヘルス問題のある親による養育支援事例の検証を通して-	50
小計 6件 300万円				
合計 20件 998万円				

※は団体申請

2014年度研究助成テーマと助成額

1. 心理学・医学的研究

敬称略・五十音順（万円）

地区	申請者		研究テーマ	助成金
東京	国際医療福祉大学大学院 医療福祉学研究科 大学院生	アキバ マユミ 秋葉 蘭三	発達障害児の母親における育児困難感に影響を及ぼす母親特性の検討 -家族概念および母性愛信奉に由来する孤立感に着目して-	50
愛知	名古屋市立大学大学院 人間文化研究科 准教授	アマヤ ユウコ 天谷 祐子	中学への移行に伴う精神的死に対する認識の変化の解明 -自我体験経験の影響を手がかりとした実験的インタビュー調査より-	50
福井	大阪大学・金沢大学・浜松医科大学・千葉大学・福井大学 連合小児発達学研究科 福井校 大学院生	アライ スズシ 新井 清義	ASD・ADHD児を対象とした前頭葉機能評価に関する研究 -CANTABを用いたNIRSによる実行機能と脳活動の比較-	50
兵庫	兵庫教育大学大学院 特別支援教育専攻 准教授	イクラ ケンジ 石倉 健二	重症心身障害児の定位反応の簡便な測定法に関する研究 -携帯端末とパルスオキシメーターを活用して-	50
神奈川	社会福祉法人 横浜市リハビリテーション事業団 横浜 市総合リハビリテーションセンター 発達支援部担当課長(医師)	イワサ ミツキ 岩佐 光章	幼児期における自閉症スペクトラムの診断告知と保護者の反応	50
京都	立命館大学衣笠総合研究機構 客員研究員	カイ サラサ 甲斐 更紗	高齢聴覚障害者の集団回想法的グループワークの効果評価	50
福井	福井大学 子どものこころの発達研究センター 特命准教授	コサカ ヒロカ 小坂 浩隆	自閉症スペクトラムの顔認知に関わる神経基盤:fMRI横断研究 -診断・介入効果判定のための生理学的指標の確立を目指して-	50
大阪	関西大学 社会学部 准教授	サウ ヒロシ 佐藤 寛	発達の観点に基づくインターネット依存の疫学調査	50
愛知	京都大学霊長類研究所 白眉プロジェクト 特定准教授	サウ ワタル 佐藤 弥	自閉症スペクトラム障害における表情知覚の問題 -定型発達者および扁桃体損傷患者との比較-	50
神奈川	あつぎ心療クリニック 相州乳幼児家族心療センター 医員	テラオカ ナオコ 寺岡 菜穂子	アタッチメント(愛着)関連障害の評価・診断についての研究	50
宮城	東北大学大学院 農学研究科 教授	ニシモリ カツヒコ 西森 克彦	ヒト型オキシトシン受容体遺伝子を持つマウスの作成 -自閉症病因性が疑われる変異型オキシトシン受容体遺伝子の in vivo 評価 系樹立を目指して-	50
静岡	国立病院機構 天竜病院 児童精神科 主任心理療法士	ノムラ カズヨ 野村 和代	発達障害をともなう外国籍児童の保護者へのペアレント・トレーニング -プログラム開発とファシリテーター養成研修プログラムの開発-	48
東京※	裁判員経験者ネットワーク 代表世話人	ハマダ ケニオ 濱田 邦夫	裁判員裁判における裁判員の家族にも話せない苦痛の実態と軽減策 -親族間の刑事事件の特色を生かした社会的対策-	50
宮城	宮城県子ども総合センター 所長	ホンマ ヒロアキ 本間 博彰	東日本大震災による乳幼児の心的外傷及び関連障害の実態について -発見されにくいトラウマを抱えた幼い子どもたちへの児童精神医学的介入と 実践的なケアの構築の検討-	50
静岡	浜松医科大学 児童青年期精神医学講座 特任助教	ヨシカワ ヒサフミ 吉川 久史	解離性障害を持つ児童への自我状態療法とEMDRの併用の効果判定	50
小計 15件 748万円				

2. 社会学・社会福祉学的研究

地区	申請者		研究テーマ	助成金
宮城	シカゴ大学大学院 人類学部 大学院生	クマキ ヒロコ 久間木 宏子	災害後の地域づくり活動がメンタルヘルスに及ぼす影響 -医療人類学的視点からの検討-	50
熊本	熊本大学大学院 生命科学研究所 技術補佐員(精神保健福祉士)	コヤマ アスカ 小山 明日香	認知症者を介護する高齢者のメンタルヘルスに関する研究 -一般地域住民との比較を通じて-	50
東京	東京大学大学院 人文社会系研究科 大学院生	サイショ シンヤ 税所 真也	単身認知症高齢者の地域生活において成年後見制度の利用が果たす機能 -「ケアの管理・調整」主体としての第三者後見人による援助に着目して-	50
東京	白梅学園大学 子ども学部 助教	ナノウ チヒロ 内藤 千尋	発達に困難を抱える非行少年の困難・ニーズと矯正教育の課題 -少年鑑別所職員調査を通して-	50
兵庫	神戸大学大学院 人間発達環境学研究科 研究員・非常勤職員	ヒンダ カズヤ 菱田 一哉	いじめ防止のための学校環境評価ツールの開発 -ヘルスプロモーションスクールの枠組みに基づいて-	50
神奈川	田園調布学園大学 人間福祉学部社会福祉学科 専任講師	ヘノマツ カツヨ 舩松 克代	自閉症スペクトラム障害に対するキャリア教育プログラムの開発研究 -中高生の放課後活動「Irodori」における効果の検証を通して-	49
東京	地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター研 究所 研究員	マスイ ユキエ 増井 幸恵	後期高齢者の精神的健康に及ぼす老年的超越の影響の縦断的検討 -ネガティブイベントの悪影響に対する緩衝効果の検討-	50
小計 7件 349万円				
合計 22件 1,097万円				

※は団体申請

2015年度研究助成 テーマと助成額

1. 心理学・医学的研究

敬称略・五十音順 (万円)

地区	申請者	研究テーマ	助成金	
大分	別府大学短期大学部 保育科 准教授	イダ'ルコ 飯田 法子	子ども引き渡しの強制執行への立ち会いにおける心理士の在り方 -心理士へのアンケート調査と弁護士へのインタビュー調査を通して-	30
鳥取	鳥取大学大学院 医学系研究科 教授	イノウエ マサヒコ 井上 雅彦	遠隔地域におけるICT技術を用いた自閉症の早期評価システムの開発	50
千葉	淑徳大学 看護栄養学部 助教	オオノ ミチヨ 大野 美千代	発達障害およびその疑いがある看護学生の臨地実習における行動・言動に関する研究	46
東京	慶應義塾大学 医学部小児科 小児科医 助教	カリナホ 香取 奈穂	コミュニケーション的音楽性(Communicative Musicality)の新生児医療への応用 -愛着障害ハイリスクな母子への早期予防的介入-	50
東京	国立精神・神経医療研究センター 臨床心理士	クラシモトモ 蔵下 智子	自閉症スペクトラム障害・統合失調症の鑑別における効果的な心理検査バッテリーの探索	50
東京	総合母子保健センター愛育クリニック 小児精神保健科部長	コグ'イラ マサキ 小平 雅基	児童期の強迫症に対する曝露反応妨害法の効果の検討と心理教材の開発	50
長野	信州大学 助教	サヤマ ダイメイ 篠山 大明	母子保健情報を活用した子どもの精神健康問題の早期発見と早期支援 -長野県の自治体における悉皆的コホート研究-	50
東京	国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所 流動研究員	ススキ コウタ 鈴木 浩太	教員・保育者における発達障害に関する“気づき”の研究 -テキストマイニング技法を用いた検討-	50
宮城	東北福祉大学 総合福祉学部福祉心理学科 助教	ヒライシミタク 平泉 拓	子ども版包括的ストレス反応尺度の作成と信頼性・妥当性の検討	46
石川	金沢大学 医薬保健学域 助教	ミノノ マキ 水野 真希	意図しない妊娠により出産した女性の社会的背景とその後の母子へのアウトカム -母子の愛着形成及び子どもの養育環境や成長発達に及ぼす影響-	50
千葉	国立国際医療研究センター国府台病院 医師	モリカワ マコ 森川 真子	発達障害児の意思決定能力の評価ならびに意思決定の支援を目的としたツール開発	50
北海道	北海道大学大学院 医学研究科 特任助教	ヤギユウ カス'ヨリ 柳生 一自	思春期～青年期ディスレクシアの質問紙作成と診断基準の策定	50
東京	東京大学大学院 医学系研究科 大学院生	ヤマジ シ 山路 未来	パートナーからの暴力(IPV)が子どもの精神発達へ及ぼす影響 -IPVサバイバーである母親への調査を通して-	50
小計 13件 622万円				

2. 社会学・社会福祉学的研究

地区	申請者	研究テーマ	助成金	
北海道	北翔大学 教育文化学部教育学科 講師	イヅツカ マサユキ 石塚 誠之	幼保小連携による発達障害児の早期支援のあり方に関する調査研究	50
大阪	追手門学院大学 国際教養学部 講師	クシビキ ユキコ 楢引 祐希子	老いと孤独に寄り添う方言 -東日本大震災の高齢被災者へのインタビュー調査-	28
東京	国立成育医療研究センター 研究員	カン'ハイ マキコ 三瓶 舞紀子	虐待予防のための支援に拒否的な社会的ハイリスク妊婦への介入方法の開発 -社会的ハイリスク妊婦に動機づけ面接で関わったら支援拒否が減るか-	50
兵庫	関西学院大学 人間福祉学部 非常勤講師	タイラ エイジ 平 英司	ろう児のいる家庭における言語活動のデータベース化 -ろう児の兄弟姉妹にあたる聴児の言語活動を中心に-	50
山形	山形大学 特別支援教育臨床科学研究所 所長 教授	ミウラ コウヤ 三浦 光哉	小1プロブレムを予防する保育所・幼稚園から小学校への接続カリキュラム開発 -年長アプローチカリキュラムと少1スタートカリキュラム-	50
埼玉※	埼玉県中央児童相談所 心理相談援助・家族支援担当部長	モテキ'ケンジ 茂木 健司	児童相談所一時保護所の生活支援の標準化のための基礎研究 -児童相談所一時保護所運営指針作成に向けて-	50
千葉	千葉大学大学院 看護学研究科 大学院生	リタナ'ヘ'アキコ 渡邊 章子	認知症高齢者がたどる配偶者との死別悲嘆過程に関する研究	50
小計 7件 328万円				
合計 20件 950万円				

※は団体申請